

議案第16号

教育総務課活動指針（令和8年度～11年度）の策定について
このことについて別紙のとおり定めること。

令和8年4月30日提出

山陽小野田市教育委員会
教育長 長友 義彦



教育総務課活動指針

令和8年度（2026年度）▶令和11年度（2029年度）

第四期山陽小野田市教育大綱および第二期山陽小野田市教育振興基本計画に掲げる基本理念「学びがあふれるまち～未来を創る人を育み、まちを育て、人や地域の幸せや生きがい・豊かさを感じる教育の推進～」を実現するためには、人材育成と教育環境の充実を支える基盤整備が欠かせません。学校の老朽化対策や環境整備は、安心して学べる環境を保障するとともに、学びの質を大きく向上させる基盤となります。

社会情勢に対応した教育環境の整備と、災害・緊急時に備えた危機管理体制を強化し、安心・安全で持続可能な教育行政の基盤を築きます。

また、教育行政全般の進捗・成果を定期的に検証し、課題を把握し改善するとともに、子ども・家庭・地域・教育関係者との対話を重視し、教育行政の透明性を高め、説明責任を果たしていきます。あわせて、教育行政の効率化を図るため、エビデンスに基づく政策立案（EBPM）および教育委員会業務のDXを推進します。

教育総務課が策定する「教育総務課活動指針」は、本市の教育大綱と教育振興基本計画に基づき、令和8年度から令和11年度までの教育行政を推進するうえで、基本的な考え方や方向性を示すものです。

位置付け

「学びを支える基盤（施設・環境・危機管理・説明責任）」を整備し、安心・安全で持続可能な教育行政運営を推進する

推進の視点

安心・安全で質の高い教育環境の整備

教育委員会の活性化・機能強化

教育委員会業務DXの推進

取組の5つの柱

1 学校施設の老朽化対策の推進

主要事業

- 校舎、屋内運動場等の長寿命化改修及び改築
- 非構造部材の耐震化
- 電気設備、浄化槽等の計画的な改修、更新

2 学校生活環境の整備

主要事業

- 空調設備の新規整備、更新
- 学校トイレの洋式化
- 屋内運動場の熱中症対策

3 人口減少社会における学校等整備

主要事業

- 適正規模・適正配置基本方針の見直し
- 学校プールの在り方検討

4 ステークホルダーとの対話を通じた計画策定・フォローアップ

主要事業

- 教育振興基本計画の進行管理
- 研修や研究機会の増
- 計画策定時における意見聴取

5 開かれた教育行政の推進

主要事業

- 教育活動の積極的な情報発信
- 市長部局との連携強化
- 施設予約システムの導入～運用定着
- 教育委員会会議の活性化

【KPI(令和11年度の目標値)】

- 多目的ホール非構造部材の耐震化対策 100%
- 特別教室空調整備対象教室への設置率 小学校 50% 中学校 100%
- 児童生徒数の減少傾向について地域と共有し、今後の在り方について協議を実施
- 教育委員の視察・研修・熟議を年 5 回以上実施
- 市 HP や SNS で教育活動に関する情報発信を年間 250 件以上実施

【令和8年度内スケジュールイメージ】

4-6月: ○第二期教育振興基本計画の周知 ○教育委員研修会実施 ○特別教室空調設備設計(着手) ○トイレ洋式化(仕様検討)	7-9月: ○移動教育委員会会議の実施 ○トイレ洋式化(仕様決定) ○(4-9月)施設予約システム導入(調整・準備)	10-12月: ○特別教室空調設備設計(完了)(予算要求R9当初) ○トイレ洋式化(予算要求R8補正又はR9当初) ○施設予約システム導入(構築)	1-3月: ○施設予約システム(運用開始) ○トイレ洋式化設計(着手)
--	---	--	---